

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.43

2009.3.6

発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019 - 684 - 2225

FAX019 - 684 - 2227

3・1ピキニデー



2月28日・3月1日の2日間、静岡県静岡市・焼津市で行われた被災55年2009年3・1ピキニデー集會に、岩手からの7人の代表のうちの1人として参加して来ました。

初日は静岡市で全体集會と分科会が行われ、夜には核兵器なくそう・世界青年のつどい2009in静岡が行われました。全体集會には1200人が、青年のつどいには250人が参加しました。

2日目は焼津市で「原水爆の犠牲者は私を最後にして欲しい」という言葉を残して亡くなられた保山愛吉さんのお墓までの献花墓参平和行進・墓前祭、被災55年3・1ピキニデー集會が行われ、墓参行進には1500人が、集會には1600人が参加しました。



被爆者の方や主催団体や来賓の方々、マーシャル諸島の代表・アメリカ・オーストラリア・フィリピン・韓国など複数の海外代表の皆さんは、核兵器と人類は共存できない、核兵器と戦争をなくすことのために2010年のNPT再検討會議に向けて、私たち1人ひとりが出来ることから一歩を踏み出して反核・平和の声を大きく広げていくことが重要だと強調していました。



また、今回の集會参加を通して、アメリカのオバマ新大統領が「核兵器のない世界を目指す」と発言したり、他の核保有国の政府や閣僚、アメリカ・ロシアの大統領経験者なども核兵器廃絶を目指す声をあげるなど、核廃絶の運動は今までにない大きなチャンスのあることや、1954年3月1日に起きた第5福竜丸ピキニ水爆実験被災事件が世界的な反核・平和運動の原点であること、その事実があまり知られていない、知らされていないことを知りました。

唯一の被爆国で平和憲法を持つ日本に住む私たち1人ひとりが核兵器と平和の問題について知り、自分のこととして声をあげていくことの大切さを感じました。
(いわて労連 平井正史さん)

いわて青年9条の会



いわて青年9条の会では、約半年ぶりに事務局會議を開催しました。

この間、活動がほぼ休止中だったので、新年度に向け總會を行なおうと話しました。この会は、県内の青年で組織している為、会員は50人を超えるものの普段の活動に参加できる人は少ないのが難点であり、改めて意思統一をしようという事になりました。なお、夏頃に県内の平和ツアーを行ないたいという案も出され、みんなが参加できるものにしたいと思っています。

また、會議の前に、岩手の会から借りた米軍基地問題などが入ったDVD(右参照)をみんなで見ましたが、地元住民の悲壮な思い等を受け、皆無言で見入っていました。

9条をまもる岩手の会では、平和関連のドキュメント・映画等のDVDを無料でお貸ししています。希望の方は、右上事務局までお問い合わせください。

平和憲法を
いかに広げる岩手の会

憲法記念日「意見広告」に取り組みます



「憲法を活かす会」では今年も5月3日の憲法記念日に、岩手日報・朝日新聞に意見広告を掲載する運動に取り組んでいます。国民投票法の成立により、憲法改悪案の国会提出と国民投票が実施可能になる2010年5月までの1年余りで、憲法改悪への具体的な手続き作業が進められ、現在衆参両院には検討機関の「憲法審査会」が設置されています。

今こそ平和憲法と9条を変えない世論形成を高め、憲法改悪を押し止める国民的な大運動が求められています。多くの方にこの意見広告への参加を呼びかけます。

掲載 5月3日 (憲法記念日)

岩手日報朝刊の全面15段
(個人・団体名、広告)
朝日新聞(岩手版)5段(広告のみ)

募集 個人1口1,000円・団体1口5,000円(いずれも可能ならば複数口お願いします)

4月10日締め切りで取り組みます。参加希望の方には「郵便振込用紙つきチラシ」をお送りしますので、表面右上の「9条をまもる岩手の会事務局」までご連絡下さい。

“日本国憲法の平和主義を守り国際政治に活かそう！” とアピール採択

2月11日、会場を満杯にしていって労連、岩手憲法会議などの主催で「『建国記念日』を考える県民のつどい」が開催され、「ソマリア沖への自衛隊派兵など、海外での武力行使、集団的自衛権行使の道はさらに危険な段階にある」ことを学習、意見交流が行われました。

学習では愛知学院大学准教授の後藤致人氏による、「昭和と平成の憲法調査会から考える象徴天皇制・憲法9条」についての講演がありました。その中で「日本は侵略国家であったのか」との田母神俊雄論文を取り上げて、これは「新しい教科書」運動の流れの論調であり、「共産主義を中心とする陰謀史観が顕著」であると指摘しました。また、「国旗の掲揚、国家の斉唱」に関して、現天皇による「やはり、強制になるということではないことが望ましい」との発言があり、東京都知事石原慎太郎氏などの「君主権の強化を模索する人々の意見を(一時的に)鈍らせているのではないだろうか」とも語られました。



意見交流では「靖国派(侵略戦争否定)の台頭を許してならない」などが発言されました。

これを受けて参加者全員により、日本国憲法こそが「世界平和の実現の道であることを確信する」アピールが採択されました。

最後に主催者が「このつどいは年々参加者が増えて、今回の様に満杯になった」と閉会の挨拶をしました。

次回の署名行動 3月の街頭宣伝活動は、まだ寒さが続く様なのでお休みします。新年度となる4月から、春の日差しの中も新たに再開したいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。